

平成 26 年 度

事 業 報 告 書

自 平成 26 年 7 月 1 日

至 平成 27 年 6 月 30 日

一般財団法人 自然環境研究センター

I. 事業概要

当財団は平成 26 年 10 月に設立 36 年を迎えた。江東橋事務所における新たな体制のもとで、これまでの実績を基礎に事業のさらなる発展を期し、運営・管理の充実を図りつつ、以下の事業を実施した。

1. 受託事業を中心とした研究活動

- (1) 調査研究の推進
- (2) 地域事務所等での業務の推進
- (3) 職員の研修・教育の推進
- (4) 海外関係プロジェクトに対するコミット

2. 自主事業を中心とした事業活動

- (1) 人材派遣サービス
- (2) 書籍販売
- (3) 東京環境工科専門学校との連携
- (4) 公益信託の事務局業務

3. 公益目的事業

- (1) 研究開発の推進
- (2) 生物多様性保全の推進
- (3) 生物分類技能検定
- (4) 法律に基づく登録機関等としての業務

Ⅱ. 事業報告

1. 受託事業を中心とした研究活動

(1) 調査研究の推進

前年度に引き続き、以下の分野を中心として調査研究を行った。

- ① 戦略的調査研究分野
- ② 地域自然環境調査研究分野
- ③ 外来生物影響調査研究分野
- ④ 鳥獣保護管理分野
- ⑤ 情報処理分野
- ⑥ 海外調査研究分野
- ⑦ 危機対応調査研究分野
- ⑧ その他の分野

(2) 地域事務所等での業務の推進

① 地域事務所

奄美大島事務所（ジャワマングース防除事業）と佐渡事務所（トキ野生復帰事業）及び小笠原事務所（希少種保全、外来種対策）の3地域事務所をそれぞれ維持し事業を実施した。

② 生物多様性分析室

生物多様性分析室（山梨県富士川町）ではカモシカの処理、標本の製作、データの蓄積、解析等を継続して実施した。

(3) 職員の研修・教育の推進

本年度も日本生態学会、日本哺乳類学会などの大会、各種ワークショップに積極的に参加した。

(4) 海外関係プロジェクトに対するコミット

国際協力機構（JICA）等各種法人及び民間からの依頼を受け、インドネシア、台湾、フィジー、パラオ、アルゼンチン、アルバニア等に人員派遣、各種調査を行った。

また、調査研究に付随しタイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、シンガポール、韓国、イラン、カタール、オーストラリア、カナダ、スイスで各種調査を行った。

2. 自主事業を中心とした事業活動

(1) 人材派遣サービス

平成15年4月1日に一般労働者派遣事業の許可を受けて開始した本事業

は、本年度で12年目を迎えた。事業開始以来、基本的に拡大傾向にあり、26年度は28件（38名）の派遣を実施し、これまでで最大の売上となった。なお、26年度末時点でのスタッフ登録者総数は86名となった。

(2) 書籍販売

従来同様、当センター出版物や都道府県別メッシュマップ等の販売を行った。なお本年度から、web上で受注・決済を行う、いわゆる「ネットショップ」運用し販売活動を行った。

(3) 東京環境工科専門学校との連携

以前より協力関係にある学校法人「東京環境工科学園」に対し、カリキュラム編成・講師派遣等の協力を行った。

(4) 公益信託の事務局業務

昨年度に引き続き、以下の公益信託の事務局を運営した。

- ・ 公益信託富士フィルム・グリーンファンド事務局
- ・ 四方記念地球環境保全研究助成基金事務局
- ・ 増進会自然環境保全研究活動助成基金事務局
- ・ ミキモト海洋生態研究助成基金事務局
- ・ 乾太助記念動物科学研究助成基金事務局

3. 公益目的事業

(1) 研究開発の推進

昨年度に引き続き、野生生物のセンサス手法、外来生物の対策手法、マネージメント手法の研究開発、各種システム開発等を行った。

① 鳥獣被害防止に関する技術マニュアル作成

有害鳥獣捕獲及び個体数調整捕獲、生体捕獲、普及・指導、人材育成などの項目のうち、今年度は特に生息環境管理及び被害対策について進めた。

② わな等捕獲用具の技術指導

わな等の捕獲用具の使用について、地方自治体や狩猟者に対して技術指導を行った。

(2) 生物多様性保全の推進

昨年度に引き続き、生物多様性の基本である生物種の情報整備（リスト化）と、種の実体を表徴する標本と写真の整備を中心に事業を進めた。

また、普及活動とし、小笠原都立高校における総合学習授業、課外授業における講義や、日本郵船飛鳥Ⅱツアーで小笠原の自然環境について講義を実施した。

(3) 生物分類技能検定

平成 11 年度に開始した本事業は、本年度で 16 年目を迎えた。本年度は、6 月に「4 級（第 1 回）検定試験」を実施、11 月に「1 級一次（筆記）」から「4 級（第 2 回）」までの全級の試験を同日に実施した。また、平成 27 年 2 月に 1 級二次（面接）検定試験を実施し、合格者の登録を行った。

なお、本年度当初（平成 26 年 7 月）に、3 級・4 級受験者向けの『生物分類技能検定 3 級・4 級解説集』を発行し、本検定試験のさらなる普及に努めた。

(4) 社会人向け講座、講習会等の開催

① 鳥獣と国土政策懇談会の開催

環境省、国土交通省、農林水産省、当財団職員の参加による懇談会を 9 回開催した。

② 環境セミナーの開催

学校法人東京環境工科学園研修部と共催で一般向けセミナーを 15 回開催した。

(5) 法律に基づく登録機関等としての業務

① 種の保存法に基づく登録機関・認定機関業務

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に基づき、環境省及び経済産業省の登録・認定機関として、国際希少野生動植物種の個体、器官の登録業務及び象牙製品の認定業務を行った。

a 国際希少野生動植物種登録業務（個体）

b 国際希少野生動植物種登録業務（器官・加工品）

c 国際希少野生動植物種（象牙製品）認定業務

※ 実施状況は別紙 1 から 3 のとおり

② 外来生物法に基づく種類名証明書発行機関業務

平成 17 年 6 月 1 日付けで施行された「外来生物法」に基づき、平成 17 年 6 月 9 日より「種類名証明書発行機関」として業務を開始した。10 年目の本年度は、2 件の証明書を発行した。事業開始時からの証明書発行数は、266 件となった。

Ⅲ. 構 成

1. 役員に関すること

理 事	監 事	評 議 員	計
(内訳) 理 事 長 1 専務理事 1 理 事 7 <hr/> 計 9	2	7	18

2. 職員に関すること

事 務 局 長	事 務 系 職 員	技 術 系 職 員	計
1	11	80	92

平成26年度登録状況(個体・個体の加工品)
(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

1. 登録

(1) 登録状況の総括

区分	動物			植物			合計
	個体	加工品	計	個体	加工品	計	
登録申請を受けた数	7,085	113	7,198	4	0	4	7,202
登録を行った数	7,085	113	7,198	4	0	4	7,202

(登録を行った申請件数 380件)

(2) 登録済個体数の網別・区分別内訳

種名	登録済個体数		
	個体	加工品	計
I 動物			
(1) 哺乳綱	49	76	125
(2) 鳥綱	101	0	101
(3) 爬虫綱	275	37	312
(4) 両生綱	0	0	0
(5) 魚上綱	6,660	0	6,660
(6) 昆虫綱	0	0	0
(7) 二枚貝綱	0	0	0
(8) 腹足綱	0	0	0
II 植物			
(1) サボテン科	0	0	0
(2) その他	4	0	4
計	7,089	113	7,202

(3) 登録済個体数の要件別内訳

登録済個体数					
本邦内繁殖	本邦内条約前取得	外国商業目的繁殖	本邦外条約前取得	附属書 I 以外の個体群	合計
219	274	6,708	0	1	7,202

(4) 登録を受けている国際希少野生動植物種の種名及び個体数

種名	個体数		
	個体	加工品	計
I 動物			
(哺乳綱)			
ワオキツネザル	6	0	6
ワタボウシタマリン	4	0	4
スローロリス属	36	0	36
カラカル	3	0	3
オセロット	0	1	1
アジアゴールデンキャット	0	1	1
ウンピョウ	0	1	1
ジャガー	0	2	2
ヒョウ	0	21	21
トラ	0	47	47
ユキヒョウ	0	3	3
(鳥綱)			
フンボルトペンギン	10	0	10
ハヤブサ	19	0	19
スマレコンゴウインコ	4	0	4
コンゴウインコ	2	0	2
ニョオウインコ	6	0	6
オオバタン	24	0	24
シロビタイムジオウム	6	0	6
フィリピンオウム	2	0	2
ヒスイインコ	4	0	4
キエリボウシインコ	4	0	4
コバタン	20	0	20
(爬虫綱)			
マダガスカルホシガメ	28	0	28
クモノスガメ	13	0	13
ビルマホシガメ	205	0	205
アオウミガメ	0	10	10
タイマイ	0	26	26
おおあたまがめ科	26	0	26

種名	個体数		
	個体	加工品	計
(爬虫綱 続き) シャムワニ	3	0	3
ガビアルモドキ	0	1	1
(魚上綱) アジアアロワナ	6,660	0	6,660
II 植物 (その他) オニソテツ属	4	0	4
計	7,089	113	7,202

2. 届出状況
譲受け等件数

動物						植物		合計
哺乳綱	鳥綱	爬虫綱	両生綱	魚上綱	その他	サボテン科	その他	
148	118	354	0	6,448	0	0	2	7,070

住所氏名変更件数

動物						植物		合計
哺乳綱	鳥綱	爬虫綱	両生綱	魚上綱	その他	サボテン科	その他	
31	48	27	0	62	0	0	0	168

3. 登録票の再交付

再交付申請を受けた件数	17
再交付を行った件数	17

4. 登録票の書換交付

書換交付申請を受けた件数	5
書換交付を行った件数	5

5. 登録票の変更登録

変更登録申請を受けた件数	1
変更した登録票交付を行った件数	1

平成26年度登録状況(個体の器官・個体の器官の加工品)
(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

1. 登録

(1) 登録状況の総括

区 分	動 物			植 物			合計
	個体の器官	個体の器官 の加工品	計	個体の器官	個体の器官 の加工品	計	
登録申請を受けた数	2,241	564	2,805	0	-	0	2,805
登録を行った数	2,241	564	2,805	0	-	0	2,805

(登録を行った申請件数：1,491件)

(2) 登録済個体の器官・個体の器官の加工品数の網別・区分別内訳

種 名	登録済個体の器官・個体の器官の加工品数		
	個 体 の 器 官	個 体 の 器 官 の 加 工 品	合 計
I 動物			
(1) 哺乳綱	2,238	564	2,802
(2) 鳥綱	0	0	0
(3) 爬虫綱	3	0	3
(4) 両生綱	0	0	0
(5) 魚上綱	0	0	0
(6) 昆虫綱	0	0	0
(7) 二枚貝綱	0	0	0
(8) 腹足綱	0	0	0
II 植物	0	0	0
合 計	2,241	564	2,805

(3) 登録済個体の器官・個体の器官の加工品数の要件別内訳

登録済個体の器官・個体の器官の加工品数					
本邦内 繁殖	本邦内条 約前取得	外国商業 目的繁殖	本邦外条 約前取得	附属書I以 外の器官・ 加工品群	合 計
0	2,394	0	0	411	2,805

(4) 登録を受けている国際希少野生動植物種の種名及び個体の器官・個体の器官の加工品数

種名	登録済個体の器官・個体の器官の加工品数		
	個体の器官	個体の器官の加工品	合計
I 動物 (哺乳綱)			
ベンガルヤマネコ	0	345	345
ウンピョウ	1	0	1
ヒョウ	0	12	12
トラ	4	0	4
ユキヒョウ	0	2	2
アフリカゾウ	2,199	0	2,199
アジアゾウ	13	0	13
シロサイ	2	0	2
クロサイ	16	0	16
インドサイ	2	0	2
ビクターナ	1	205	206
(爬虫綱)			
マダガスカルホシガメ	2	0	2
タイマイ	1	0	1
合計	2,241	564	2,805

2. 届出状況
譲受け等件数

動物				植物	合計
哺乳綱	鳥綱	爬虫綱	その他		
2,391	0	2	0	0	2,393

住所氏名変更件数

動物				植物	合計
哺乳綱	鳥綱	爬虫綱	その他		
564	0	0	0	0	564

3. 登録票の再交付

再交付申請を受けた件数	24
再交付を行った件数	24

4. 登録票の書換交付

書換交付申請を受けた件数	21
書換交付を行った件数	21

5. 登録票の変更登録

変更登録申請を受けた件数	0
変更した登録票交付を行った件数	0

平成26年度認定状況
(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

1. 認定状況の総括

種名	アフリカゾウ	アジアゾウ	合計
認定申請を受けた製品数	77,698	0	77,698
認定を行った製品数	77,698	0	77,698

(認定を行った申請件数 148件)

2. 認定した製品の区分内訳

区分 \ 種名	アフリカゾウ	アジアゾウ	合計
A 印章	73,673	0	73,673
B 調度品	188	0	188
C 装身具	3,454	0	3,454
D 楽器	5	0	5
E 室内娯楽用品	0	0	0
F 食卓用品	0	0	0
G 文房具	0	0	0
H 喫煙具	0	0	0
I 仏具	134	0	134
J 茶道具	0	0	0
K 日用雑貨	244	0	244
合計	77,698	0	77,698